

この紙のゴール：返ってきたテストを、次の2週間にやること1つに変える

テストが返ってきた日にやることは、点数を見て一喜一憂することではありません。どの種類の失点が多かったかを数えて、次の2週間の手を1つだけ決めることです。落とし方には型があり、型ごとに手当てが違います。

大問ごとに書く 答案を見ながら、上から順にうめます（10分）

大問	観点（知技／思判表）	配点	得点	落とした理由の記号
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

- ・ア 覚えていなかった一語彙・文法・本文の内容。見た瞬間に分からなかったもの。
- ・イ 時間が足りなかった一分かるのに手が回らなかった。空欄のまま出したもの。
- ・ウ 読み違えた・問いに答えていない一本文は読めたのに、聞かれたことと違うことを書いた。
- ・エ 書き方が分からなかった一言いたいことはあるのに、英語の形にできなかった。

観点ごとの合計 上の表の得点を、観点ごとに足します

観点	配点	得点	得点率（％）
知識・技能			
思考・判断・表現			

記号ごとの、次の一手 いちばん多かった記号の行だけを読みます

記号	次の2週間ですること	使う紙
ア	範囲を3日に分けて、書けるまで書く。読んで思い出せる状態と、書ける状態は別です	小テストの範囲・単語ノート
イ	時間を測って読む練習を週2回。速さは練習した分だけ動きます	速読ラダー（タイムを記録）
ウ	設問を先に読んでから本文に入る。読み終えてから設問を見る癖を、ここで変えます	初見読解ミニテスト
エ	型を1つだけ覚える。理由2つと具体、の順に並べるところから	意見文の設計図・加点式ルーブリック

次のテストまでに、わたしがやること 1つだけ。できたかどうかが自分で分かる形で書きます

いつ	やること（1つだけ）
今週	
来週	

「がんばる」は書かないこと。「毎朝、単語を10個書く」のように、やったかどうか後で分かる形にします。

誤答分析シート | クラスの集計と、返却の15分

クラス集計 個人票を集める前に、教師の手元でこれをうめます

大問	観点	配点	平均点	得点率 (%)	多かった記号
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

集計の読み方 手当ての場所は、平均点ではなく分布と記号で決まります

集計に出る形	たいていの原因	次にやること
記号イ（時間）が多い	問題量が多い。作問者の想定時間が甘い	想定解答時間を試験時間の8割まで落とす。帯活動に速読を入れて、読む速さそのものを上げる
記号ウ（読み違い）が多い	初見の英文に触れた回数が足りない	設問を先に読む手順を全体で1回やってみせる。週1枚の初見読解を帯に置く
思考・判断・表現だけ低い	教材ではなく、その場で考える経験の不足	教科書本文の再掲を減らし、初見の材料を読解の半分以上にする
得点が上下に割れる（二こぶ）	クラスの中の学力差。平均点は誰も表していない	支援の量を変えた版を配り分ける。問いは変えないこと（答案が並べて読めなくなります）

返却の15分 1コマ全部を使わずに、この順で回します

時間	すること
3分	クラスの平均と分布を出す（個人の点は言わない。最高点も言わない）
5分	各自でこのシートをうめる。教師は机間を回り、記号が書けていない生徒だけを見る
5分	同じ記号の生徒どうして集まり、次の一手を口に出す
2分	「今週やること」を1行だけ書いて提出する

答案の解説を全問やらないこと。全問解説は、できた生徒には退屈で、できなかった生徒には速すぎます。解説するのは記号ウが多かった大問だけで足够了。

記録として残す

- ・このシートは「主体的に学習に取り組む態度」の材料になります。ただし、提出したかどうかだけで評価しないこと—見るのは、書いた1手と、次のテストでその記号が減ったかどうかの2枚の並びです。
- ・回収したら、記号の分布だけを控えて返します（返さないと、次のテスト前に本人が見返せません）。控えるのは人数だけで、氏名は要りません。
- ・同じ生徒が3回続けて同じ記号を書いていたら、手当てが効いていないということです。面談の材料はそれで足够了。

つながる紙

集計で見た弱点は、次の作問にそのまま戻します—定期テスト設計図の素材欄と想定時間を書き直すのが最短です。学期末に評定を出すところまでは評定の出し方（Premium）に段取りがあります。

